

拓伸会 拓南グループ

(拓南本社株式会社、拓南製鐵株式会社、拓南商事株式会社、拓南製作所株式会社、株式会社西原グリーンセンター)

COMPANY PROFILE

代表者 会長 古波津 昇
 所在地 那覇市壺川3-2-4
 電話番号 098-831-8228
 創業 1953年
 従業員 700名
 業種 鉄鋼業、金属リサイクル、建設業、不動産・サービス業
 HP <https://www.takunan.co.jp/>

健康宣言



拓伸会(拓南グループ)会長
古波津 昇

拓南グループを「拓く」健康経営の推進

「鉄鋼業を開拓して琉球の経済発展に貢献する」というグループ理念を追求するため、社員が健康で安心・安全に働ける職場づくりが最も大切だと考えます。当社の取り組みBCP(事業継続計画)の一つとして健康経営を推進し、社員の健康力アップを図るとともに拓伸会各社をさらに「拓いて」いきます。その上で新型コロナウイルスの感染防止対策を徹底、社員自ら健康管理・保持に努められるようサポートしていきます。

取組内容



- ①協会けんぽ沖縄支部より認定証の授与式
- ②拓南グループ5社合同の健康経営セミナー

拓伸会が毎年恒例の「鉄の記念日」に合わせて「健康経営宣言」を行い、始動イベントを実施。健康経営の第一段階である宣言の社内外への発信を目的とする。協会けんぽ沖縄支部より「福寿うちな〜健康宣言事務所」の認定書がグループ5社に交付され、各社の代表者が健康経営に取り組むことを決意表明した。

『鉄の記念日』に合わせて、各社の代表と健康経営推進者を対象とした健康経営の基本を学ぶセミナーを実施。社員一丸となった健康経営推進に向けたファーストステップとして以下3点を学んだ。①沖縄県の現状問題と本事業の意義②拓南グループの健康課題③健康経営の4つのステップ・実践支援の事例紹介

私たちの目指す組織

- 01 社員が健康で安心・安全に働ける職場
- 02 社員自らの健康管理・健康保持に努められるようサポートできる環境
- 03 新型コロナウイルス感染防止対策の徹底

健康経営を始めたきっかけ

拓伸会のBCP(事業継続計画)を実行するために、当グループ各社の健康課題である健診受診率の向上や有所見率の改善など、グループ全体で健康経営に取り組み、社員の健康力アップを図っていきたい。

支援成果

拓南グループは毎年恒例の「鉄の記念日」式典に合わせて「健康経営宣言」を実施し、協会けんぽ沖縄支部より「福寿うちな〜健康宣言」認定証が授与された。また沖縄労働局主唱事業の「ひやみかち健康経営宣言」を実施し、同局のホームページに掲載された。当日は健康経営セミナーもを行い、グループ全体で健康経営に取り組むキックオフとして良い機会になった。

次年度に向けて

グループ全社共通の取組事項として①定期健康診断の実施と有所見率の改善、②新型コロナウイルス感染症対策の徹底、③ラジオ体操の実施、④インフルエンザ予防接種の実施。同時に、各社独自の取り組みとして、家族の定期健診受診率の向上、産業医による健康相談とストレスチェック結果の活用、健康優良者への表彰、ノー残業デーの実施と年次有給休暇の取得推進も進めていく。

VOICE 担当者の声

従業員の健康に対する意識が高まりました

グループ会社一丸となった健康経営宣言を行うにあたり、他社の取組事例などを積極的に取り入れ、グループ各社で情報共有を行いました。被扶養者も含めた健診受診率や有所見者の再検査率の向上を図り、運動不足や食生活を改善する取り組みを社員一丸となって行うことで、健康状態の改善・向上を目指します。併せて、ワーク・ライフバランスの実現に向け、時間外勤務の縮減や有給休暇取得促進を継続的に行っていき、社員の健康増進に努めていきます。

拓南本社株式会社
業務部次長
喜屋武 智 さん



社会保険労務士法人 なか

COMPANY PROFILE

代表者 代表社員 新垣 明
 所在地 那覇市壺川1-4-15
 電話番号 098-855-2133
 創業 1977年
 従業員 21名
 業種 労務管理事務所
 HP <https://www.nakagrps.co.jp>

健康宣言



代表社員
新垣 明

健康で楽しく働ける環境づくり

なか事務所は信用・誠実・実績をモットーにお客様により良品質と高い満足度を与え、企業の充実・発展継続に寄与し、会社に貢献する中堅企業を目指しております。そのためにも、まず職員一人一人が心身共に健康で楽しく働ける環境が重要だと考えております。職員一丸となって健康の維持・増進に向けて取り組んでまいります。

私たちの目指す組織

- 01 社会に貢献する中堅企業
- 02 職員一人一人が、心身共に健康で楽しく働ける環境
- 03 顧問先企業のお手本となる職員一丸となった健康維持・増進

健康経営を始めたきっかけ

職員の健康増進(体調不良による休職・欠勤予防や生産性向上)を目標に職員一丸となって健康づくりに取り組み、コミュニケーション向上に繋がりたい。

取組内容



- ①味覚講座
- ②健康経営情報の発信

味覚について学び、テイスティングによって自身の味覚をチェックする体感型の講座。今回は、自身の塩分味覚度をチェック!塩分を摂り過ぎるとどうなるのか?1日の塩分摂取量について学んだ。

顧問先の契約企業向け広報誌「じんざい」やブログにて健康経営の必要性や意義・自社の取組内容を紹介。労務管理の専門集団として自社だけでなく多くの県内企業へ向け健康経営の普及啓発活動を行う。

支援成果

本支援を機会に健康経営に本格的に取り組み始めたが、管理職はじめ職員の健康や食に対する意識がさらに向上し、会社全体で盛り上がっている。健康経営に関する新聞記事も皆で読み合わせするほどの変化が表れた。労務管理関係の広報誌などでも健康経営をテーマに取り上げられるなど、今必要とされていることを改めて実感している。

次年度に向けて

健康で明るい職場を目標に、個々の健康に対する意識を高め、一人ではなかなか続けられない運動や食事療法に会社全体で取り組む。
 ①定期的セミナーを開催 ②健康情報提供
 ③月1回の栄養会(社内で味噌汁作りなど)

VOICE 担当者の声

みんなの健康への理解が深まりました

職員一丸となって取り組むことで、健康力増進と、社内のコミュニケーション向上に繋がれることを期待しています。事業所カルテから我々の健康状態が良好であると判明し、自信ができました。セミナーを通じて健康への理解が深まったので、さらなる健康維持・促進を目指して、楽しみながら和気あいあいと進めていきたいと思っています。

広報担当
市丸 浩美 さん



オリオングループ (オリオンビール株式会社、株式会社ホテルロイヤルオリオン、株式会社ホテルオリオンモトブ、オリオン嵐山ゴルフ倶楽部株式会社)

COMPANY PROFILE

代表者 代表取締役社長兼CEO 早瀬 京鎬
 所在地 豊見城市宇豊崎1-411(トミン内)
 電話番号 098-911-5229
 創業 1957年
 従業員 760名
 業種 ビール類製造販売、清涼飲料販売、
 ホテル事業、ゴルフ場事業
 HP <https://www.orionbeer.co.jp/>

私たちの目指す組織

オリオングループのミッション

「人を、場を、世界を、笑顔に。」の実現

- ・顧客の笑顔、Win-Winに繋がる活動
- ・社員が働きやすく、働きがいのある職場環境
- ・地域社会の発展および保全(環境、教育)に努め、共に生きる
- ・長期的な事業の継続と安定成長

健康経営を始めたきっかけ

オリオングループの理念“ORION WAY”に則り、従業員が心身共に健やかで安心な生活を送れるようサポートし、組織全体のパフォーマンスの向上に繋げていきたい。

支援成果

今年度はリモートによる社内健康セミナー、歩数アプリを活用した社内ウォーキングコンテストをメインに実施。コロナ禍でも可能な方法で実践することで、離れた事業所の社員も気軽に参加でき、“従業員参加型”の健康経営企画をオリオングループ全体で取り組めたことが非常に良かった。

次年度に向けて

コロナ禍で活動が制限されている中ではあるが、従業員が楽しみながら意欲を持って参加できる健康経営企画を継続し、オリオングループ一人一人の健康意識向上に繋げていきたい。

健康宣言

オリオングループ ヘルスイニシアチブ ～健康経営宣言～



Chief Health Officer
執行役員 人事総務本部長
矢沼 恵一

オリオングループでは、健康経営プロジェクトチームを発足し、従業員の健康維持・増進を目的として様々な健康経営施策を実施しております。全ての従業員が、オリオングループにとって最も重要な資産のひとつであり、従業員一人一人とご家族・パートナーの健康こそが会社としてグループ全体としてのパフォーマンスの向上に繋がるものと考えております。

取組内容



①従業員向け健康経営セミナーのリモート開催

コロナ禍のため、リモート開催にて従業員向けの健康経営セミナーを実施。禁煙、生活習慣病予防、適正飲酒、食生活、女性の健康をテーマに2020年度は計5回開催。基礎知識に加え、沖縄県および自社、従業員自身の現状に関心を持つ機会づくり。

②健康お役立ち情報の社内発信

健康セミナーなどの実施により従業員の健康意識が高まり、社内有志のトレーナーメンバーによる従業員向け健康ブログがスタート。在宅勤務時のストレッチや栄養バランスを意識した食事など、健康に関するお役立ち情報が発信されるようになった。



VOICE 担当者の声

リモートワーク時でも健康づくりを通してグループ全体の結束力がアップ

在宅・リモートワーク中で実際に顔を合わせていなくても、リモートセミナーやウォーキングアプリを通じて、グループ社員同士繋がっている感覚を持ってたことが良かったです。3か月間のウォーキングコンテストでは、オリオングループのホテル2社における業務中の歩数が突出しており、グループ各社の業務へのイメージが薄くなど、健康意識だけでなく全体の結束感が強まったように感じます。



PMO・渉外室
小倉 鉄平 さん



人事二課長
福元 淳 さん

読谷村商工会 / 株式会社 FMよみたん

COMPANY PROFILE

読谷村商工会
所在地 読谷村字喜名2346-11
読谷村地域振興センター2階
電話番号 098-958-4011
創業 1974年
従業員 6名
業種 経済団体
HP <https://www.yomitan.or.jp>

株式会社FMよみたん

所在地 読谷村字喜名2346-11
読谷村地域振興センター3階
電話番号 098-958-7860
創業 2008年
従業員 13名
業種 放送業
HP <http://www.fmyomitan.co.jp>

健康宣言

健康づくりの輪を広げる 地域密着型の健康経営



読谷村商工会 会長
(株)FMよみたん 代表取締役
仲宗根 朝治

経済活動を通じたまちづくりと商工業活性化のため、読谷村商工会員企業のロールモデルとして、まずは本商工会とFMよみたんの健康づくりを率先して行い、スタッフの健康増進を図っていきます。商工会会員の皆さまのみならず、地域全体が健康でいられるように、地域のコミュニティであるラジオを通して健康への取り組みを発信し、村全体に健康づくりの輪を広げ、元気なまちづくりを推進していきます。

取組内容



①読谷健康推進地域モデル創出会議

ウェルネスセミナーと併せて会議を実施。読谷村の働き盛り世代の健康増進に向け、読谷村健康推進課・協会けんぽ沖繩支部とも連携を取る。各組織の取組強化・相乗効果を図りながら、新たな健康推進地域モデルを構築し、県内外のロールモデルを目指す。



②ランチタイムセミナー

食生活の基本を学び、いつでもどこでも誰でも実践できる食生活の改善と食生活を高めるセミナー。各従業員に出勤時に普段食べているランチ写真(手作り、買い弁当や外食など)を事前に提供してもらい、栄養バランスや「いつもの食事に+1品」など具体的なアドバイスを行う。

私たちの目指す組織

従業員みんなが心身共に健康でいられる組織

健康経営を始めたきっかけ

従業員の健康増進と企業としての発展を目指すと同時に、読谷村商工会員企業のモデルとして、まずは本商工会とFMよみたんの健康づくり実践を率先して行い、経済団体として読谷村の企業・事業所の健康づくりを推進していくため。

支援成果

コロナ禍の中、商工会会員向けの健康経営の推進、商工会員企業モデルの取り組みの第一歩を踏み出す良いきっかけになった。ランチタイムセミナーでの各自食べているランチに対しての評価とアドバイスは、とても具体的に分かりやすかった。健康な食生活が他人事から自分事になると同時に、社内のコミュニケーションの活性化、良い雰囲気醸成に繋がった。

次年度に向けて

商工会という地域企業のみとめ役という立場から村内会員企業に向けて健康経営を発信し、仲間を増やしていきたい。また、FMよみたんとしては、社内の健康増進だけでなく、地域のコミュニティ放送局というメディア企業として社外へ発信していきたいながら、地域・関係組織とも連携し健康経営の推進を図っていく。

VOICE 担当者の声

継続は力なり! 健康は笑顔なり! 環境改善で身体も心も健康に!

「人は金なり」。従業員が健康であることにより会社運営が成り立ち、さらなる成長・発展に繋がります。ランチタイムセミナーで指導して頂いた「食選力」や、一人一人に無理のない運動などを心掛けさせることの大切さを学びました。一人で取り組むのはなかなか難しいですが、従業員同士で切磋琢磨し合って取り組むことで、楽しく笑顔で健康づくりができます。従業員それぞれが、自分に合った「健康目標」を達成できるようにこれからも継続していきます!



株式会社FMよみたん
営業課長
比嘉 雅也 さん

興南施設管理株式会社

COMPANY PROFILE

代表者 代表取締役社長 屋良 学
 所在地 浦添市牧港1-60-6
 電話番号 098-877-7269
 創業 1977年
 従業員 367名
 業種 各種公共施設プラントの運転維持管理
 HP <https://www.konan-sk.co.jp>

私たちの目指す組織

- 社員が一人一人
心身共に健康な組織
- 人生100年、
少しでも長く働ける組織

健康経営を始めたきっかけ

近年、社員の腹囲リスク・血圧リスクが増加傾向であることが分かり、その改善を図るために健康経営を本格的にスタート。専門家とも連携しながら、社内で健康増進委員会を立ち上げ、健康増進システムを構築し、持続可能な健康経営を推進中。

支援成果

本支援では、健康経営・ウエルネスセミナーを実施したが、次のステップに繋がる良い内容だった。また本支援の連携先の協会けんぽ沖縄支部から提供のあった事業所カルテで県全体・同業種と会社の健康状態の比較と現状把握ができたことが社内の取り組みのさらなる後押しとなり、経済産業省の健康経営優良法人2021の中小規模法人部門ブライツ500にも認定された。

次年度に向けて

今年度で、健康増進委員会の設置・健康課題の把握・健康増進ポイント制度の策定・オンライン体制構築など土台づくり・環境整備ができた。次年度は、弊社の一番の健康課題となる腹囲リスクの解消に向けた実践・取り組みを強化し、できることから確実に継続していく流れをつくっていく。

健康宣言



代表取締役社長
屋良 学

重要な職責を担うからこそ
大切な従業員の健康づくり

当社は上下水道施設やごみ処理施設など、公共施設の運転維持管理を24時間365日行っています。華やかな仕事ではありませんが、住民生活を支える重要な職責を負っており、緑の下の力持ちとして社会貢献できるよう努めています。社員が心身共に健康で永く勤めていけるように、積極的に健康管理を行っておりましたが、この宣言を機にますます健康経営に取り組んでいきます。

取組内容



①健康増進ポイント制度

今年度より新たな制度を設け、社員の健康増進の取組活性化を図る。約20の現場と個人のランキングを見える化。健診結果や健康づくりの取り組みに対し、成績優秀な現場・個人に対して表彰を行い、各種インセンティブ(商品券など)を支給する。

②ウエルネスセミナー

健康の基本と正しい生活習慣を学ぶセミナー。健診結果の見方を学び、自身と会社の健康状態の理解を深める。目標の腹囲リスク解消に向けて、健診結果と生活習慣との関連性を学びながら、実践・取り組みに繋げていく機会にする。

VOICE
担当者の声社員の健康課題を把握し、
自社に合った健康づくりを
推進できました

以前から健康づくりに取り組んでいましたが、社員の健診結果に基づいた具体的な対策を行っていませんでした。今回、健康経営宣言を基に健康課題が浮き彫りになったことで、「健康増進ポイント制度」を取り入れるなど、具体的な取り組み方法を見出すことができました。これからはスタートだと思っておりますので、セミナーで得た知識を生かして、これまで以上に健康増進に取り組んでいきます。

取締役常務
屋良 一寿 さん



ソニービジネスオペレーションズ株式会社

COMPANY PROFILE

代表者 代表取締役社長 伊原 諭
 所在地 南城市大里字仲間807
 電話番号 098-944-0315
 創業 2011年
 従業員 397名
 業種 BPO受託業務
 HP <https://www.sonybo.co.jp>

私たちの目指す組織

社員一人一人が創意工夫しながら意識高く業務を行えるよう、職場環境や勤務環境を整備し、心身共に健康・健全な状態を維持できる組織

健康経営を始めたきっかけ

デスクワークと在宅勤務による健康課題を感じていたため、参加に至った。今回の取り組みを機に、今後の健康推進活動に繋げていきたい。

支援成果

コロナ禍で社内の全イベントを自粛している中、オンラインを活用した健康経営イベントが実施できたことは大きな成果であり、役員・管理職の健康経営に対する理解も深まった。オフィスフィットネスでは、社内にいるスタッフだけでなく、テレワーク中のスタッフも参加でき、実際に身体を動かした体感・実感できたことが良かった。

次年度に向けて

生活習慣改善に向けての健康推進活動を継続するとともに、オンラインコミュニケーションツールの活性化やラインケア・医療職によるケアなど、セルフケア・メンタルケアに繋がる支援を強化していきたい。

健康宣言



代表取締役社長
伊原 諭

社員の高い業務遂行を支える
健康・健全な職場づくり

ソニービジネスオペレーションズは、業務品質を担保し、高い生産性をもってソニーグループの事務業務を遂行しています。この業務遂行は社員一人一人の創意工夫によって成し得ているものです。当社の社員がこれからも意識高く業務を行えるよう、職場環境や勤務環境を整備し、心身共に健康・健全な状態を維持できるよう取り組んでいきます。

取組内容



①健康課題抽出・実践計画

健康経営アドバイザー・コーディネーターと面談を行う。社員の健診結果を職場単位でまとめた「事業所カルテ」を基に、自社の健康課題と職場に合わせた、健康づくり実践内容を一緒にプランニングしていく。

②オフィスフィットネス

デスクワークによる肩こり・腰痛、在宅ワーク時の運動不足解消のため、勤務時に手軽にできる軽運動・ストレッチを実施。社員の健康づくりの習慣化を図る。(正しい姿勢について/デスクワーク向けのストレッチ・筋トレ)

VOICE
担当者の声社員の健康意識がアップ！
今後は会社全体へ規模拡大を
目指します

今回は社員の健康意識を高めることが最大の目的だったので、スキマ時間を使って手軽に健康づくりができることを知ってもらえたことは、習慣化への第一歩だと思います。コロナ禍において健康イベントを開催できたのは大きな成果だと思うので、健康づくりを会社全体に浸透していきたいように、これまで行っていたラジオ体操なども含めて継続的に取り組んでいきます。



人事総務部・課長
高江洲 幸美 さん



人事総務部・保健師
財津 美和 さん